

一般質問



玉森 大樹 議員



録画映像

質問1 茂辺地パークゴルフ場の駐車

場を増設してはどうか
都市住宅課長 今後利用者が増加傾向になるようであれば検討する

問 (1)コロナ禍で加速したキャンプブームにより、当市のキャンプ場も利用者が急増していますが、利用者増による施設の運営管理に与える影響をお伺いします。
(2)パークゴルフが全国に普及し、まもなく40年になり、当市にも多くの愛好者がいます。

そこで、市内に設置しているパークゴルフ場の利用状況ならびに施設の管理状況についてお伺いします。

答(市長) (1)現在市内には、3カ所のキャンプ場があり、令和3年度の利用者総数は、きじひき高原キャンプ場が8千559人、上磯ダム公園キャンプ場が1万2千569人、湯の沢水辺公園キャンプ場が1万15人となっております。

コロナ禍前の令和元年度と比較しますと、湯の沢水辺公園キャンプ場では134%の増と利用者が大幅に増えたことにより、トイレのくみ取り回数の増加、隣接地の無断使用及びゴミの投げ捨てなど、いくつかの問題が発生しています。

(2)有料パークゴルフ場が3カ所と、無料パークゴルフ場が5カ所あります。

令和3年度の有料パークゴルフ場の利用者総数は、運動公園パークゴルフ場が1万4千595人、茂辺地パークゴルフ場が9千28人、八郎沼パークゴルフ場が1万1千827人となっております。施設の管理状況については、会計年度任用職員を3名ずつ雇用し、午前8時半から午後5時まで、2名の管理人体制で、受付業務、トイレ清掃及び落ち葉整理などを行い、コースの芝生管理や樹木管理については、植栽業者に業務委託しています。

問 湯の沢水辺公園キャンプ場では、利用者増による種々のトラブルが発生していることから、管理人を常駐させ、利用者に快適に利用していただくためにも有料化にする考えはないか。

答(都市住宅課長) 無料であることが人気要因の一つであり、施設利用料を徴収することは現在のところ考えていません。

問 茂辺地パークゴルフ場は、大会開催時などに駐車場が満車になることがあるため、近くに駐車場を増設してはどうか。

また、利用者には、高齢者も多く、コース内で動けなくなった場合などに備え、管理棟に担架などの設置を検討してはどうか。

答(都市住宅課長) 駐車場については、予約なしの団体利用制限や乗り合わせの

お願いをホームページや看板で周知し、今後利用者が増加傾向になるようであれば増設を検討してまいりたい。

また、管理棟の担架については、来年度以降の設置を考えます。



満車状態の茂辺地パークゴルフ場駐車場

質問2

特認校制度により学区外の生徒が多い現象をどう考えるか

教育長 小規模校存続としての役割もあるが少子化への対応は必要

問 本市の特認校制度は豊かな人間性を育むための教育活動を展開する小規模な小・中学校に本来の通学区域外から通学することを一定条件の下に認めるものとされていますが、本制度を活用した実績ならびに現況をお伺いします。

答(教育長) 本制度を活用した実績については、平成26年度以降増加傾向です。本制度を活用した児童生徒の中には、大規模校には馴染めず不登校になっていたが、特認校に通学するようになってか

らは、小規模校ならではの特色ある取り組みや活動によって、積極性が生まれ、大規模校に通学できるようになったとの例もあり、この特認校制度は非常に意義のあるものと考えています。

問 石別中学校及び茂辺地中学校は、地域の生徒より特認校制度を活用し学区外から通学する生徒の方が多くなり、学区内と外の逆転現象が起きているが、この状況をどう考えているのか。

答(教育長) 小規模校の存続と大規模校に通えない児童生徒が特認校へなら通えるといった部分を考えると、特認校制度は大きな役割を果たしていると考えます。しかし、市内全体の児童生徒数も年々減少傾向にあり、将来を見据え保護者や地域の皆さんと話し合いをしながら対応していかなければならない時代がもうすぐ来るのではないかと考えています。

◆直近3カ年の特認校制度の利用状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特認校制度利用児童生徒数(人)	32	34	34

(出典：学校教育課課内資料より)

◆令和4年度の学校別全児童生徒数及び特認校制度利用児童生徒数

区 分	石別小	島川小	石別中	茂辺地中	合 計
全児童生徒数(人)	9	27	13	17	66
うち特認校制度利用児童生徒数(人)	4	11	8	11	34

(出典：学校教育課課内資料より)

